

履修モデル（経営学部 経営学科）

【履修モデルとは…】

学部学科では、ディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーに基づき、「養成する人材像」を定めています。
学部学科には様々な科目が用意されていますが、「養成する人材像」を目指す上で、いつ（学年）、どのような科目を、どのような順に学んでいくか、履修したらいいかを明示しているものが「履修モデル」です。
学生の皆さんはこれを参考に、自らの目標・目的に従って授業を選択し、履修してください。

学部・学科名	経営学部・経営学科	対象入学年度	2025年度以降入学生
ディプロマ・ポリシー	経営学部経営学科では、学則第2条の2に示す人材の養成を目指します。この目標に沿って、所定の単位を修得し、以下の資質、能力及び知識を身につけた学生に「学士(経営学)」の学位を授与します。 (知識・技能) 1. ビジネス・マネジメント、流通・マーケティング、データサイエンス、国際ビジネスなどの分野の専門知識を身につけている。 2. アカウンティング、ファイナンス、ビジネスデザインなどの分野の基礎知識を身につけている。 3. ビジネスの現場における問題を発見、分析、解決するために必要な情報を集めることができる。 4. 幅広い教養、豊かな人間性及び社会的倫理観を身につけている。 (思考力・判断力・表現力) 1. 上述の知識、及び集めた情報を筋道立てて活用し、ビジネスの現場における問題の発見、分析、及び解決策の提案ができる。 2. 上記の一連の流れを、分かりやすく言語化することができる。 (主体性・多様性・協働性) 1. 国際的教養と視野を持ち、様々な場面で適切なコミュニケーションを取れる能力を有している。 2. 多様な人々と協力して地域社会に貢献する意欲と能力を身につけている。		
カリキュラム・ポリシー	経営学部経営学科では、学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)に掲げた資質、能力及び知識を修得させるために、全学部共通で示す教育課程の編成・実施方針に加え、以下の内容、方法等に基づき、カリキュラムを体系的に編成し、実施します。 (教育内容) 1. 広範の経営学を7分野に分け、経営学科にはこのうち「ビジネス・マネジメント」「流通・マーケティング」「データサイエンス」「国際ビジネス」の4コースを設ける。 2. 経営学部両学科各コースの基礎的知識を横断的に学修できるように、「学部共通部門」を設置する。 3. 所属コースに関する専門的内容を深く、体系的に学修できるように、コースごとに科目群を配置し、それぞれに必修科目、選択必修科目を定める。 4. アカウンティング等の学修機会も得られるよう、会計ファイナンス学科の科目も柔軟に履修可能とする。 5. 各科目で学んだ知識、考え方の総合力、応用力、表現力を顕著にするため、各コースとも専門演習8単位を必修とする。 6. 幅広い教養、豊かな人間性、社会的倫理観、及び国際的教養と視野を身につけられるよう、共通教養科目の「外国語」「数理・情報」「自然」「社会」「人文」「スポーツ・健康」の各分野にそれぞれ必要修得単位数を設ける。 (教育方法) 1. 専門演習や入門演習等の演習系科目においてはアクティブ・ラーニング、PBL(Project Based Learning、課題解決型学習)等の教授法を積極的に取り入れ、知識を伝授する底学にとどまらず、知識を基盤とした能動的な学修を通じて、実践的な教育を目指す。 2. LMS(Learning Management System:オンラインによる学習管理システム)として「Moodle」を活用し、学生との双方向的な教育を推進する。 3. 演習夜や実習系の科目に対する少人数制や大人数科目に対する分割開講などの採用により、授業内容・形式に応じた適切な履修者数を設定する。 4. シラバスにおいて「準備学習・事後学習」を全授業科目で明示することで、学生の授業外での学習を促し、学習時間確保と単位の実質化に努める。 5. 履修モデル、カリキュラムマップを示すことにより、体系的・段階的な学修ができるようにする。 (学修成果の評価) 経営学部経営学科では、本学における学修成果の評価方針(アセスメント・ポリシー)に基づき、学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)に示す学修目標の達成状況を把握するため、以下の方法により、検証・評価を行います。 1. 教育課程(シラ)での評価は、学修成果アンケート、単位取得状況、単位取得率、GPA分布(年度毎、通算)、留年率、必修科目や専門演習の成果評価割合等により行う。 2. 授業科目(ミク)での評価は、シラバス「成績評価の方法と基準」で明示した基準に基づいて、各科目の成績評価分布、授業評価アンケートにより行う。		

履修モデル	コース	ビジネス・マネジメント
養成する人材像	企業と経営の環境・構造・機能を総合的に理解しうる人材	

		1年次				2年次				3年次				4年次				合計単位	
		第1セミナ-	単位	第2セミナ-	単位	第3セミナ-	単位	第4セミナ-	単位	第5セミナ-	単位	第6セミナ-	単位	第7セミナ-	単位	第8セミナ-	単位		
共通 教養 科目	外国語分野	Reading I	1	Reading II	1	Reading III	1	Reading IV	1									6	
		Practical English	1	TOEIC I	1														
		〇〇語入門I	1	〇〇語入門II	1														
		〇〇語基礎I	1	〇〇語基礎II	1													4	
	数理・情報分野 自然分野 社会分野 人文分野 総合	数理・情報分野 科目	2	数理・情報分野 科目	2	自然分野科目	2	自然分野科目	2									20	
スポーツ・健康分野	スポーツ・健康演習	2																2	
専門 教育 科目	学部共通部門	経営学入門	2	ファイナンス論	2	流通論	2											18	
		会計学入門	2	企業法	2														
		ミクロ経済学	2	経営統計	2														
				マーケティング論	2														
	ビジネス部門					ビジネスエコノミクスⅠ	2	ビジネスエコノミクスⅡ	2	ベンチャービジネス論	2	経営立地論	2					20	
						経営史Ⅰ	2	経営史Ⅱ	2										
						企業論Ⅰ	2	企業論Ⅱ	2										
						コーポレートファイナンス論Ⅰ	2	コーポレートファイナンス論Ⅱ	2										
	マネジメント部門					経営戦略論Ⅰ	2	経営戦略論Ⅱ	2	人事管理論	2	労使関係論	2					26	
						経営管理論Ⅰ	2	経営管理論Ⅱ	2	生産管理論Ⅰ	2	生産管理論Ⅱ	2						
								経営組織論Ⅰ	2	経営組織論Ⅱ	2	会社法Ⅱ	2						
										会社法Ⅰ	2	アントレプレナーシップ論	2						
	流通・マーケティング部門																	0	
	情報システム部門					情報システムの基礎	2											2	
	国際ビジネス部門									ビジネス英語Ⅰ	2	ビジネス英語Ⅱ	2					4	
	演習部門	入門ゼミ	2					基礎ゼミ	2	外国書講読Ⅰ	2	外国書講読Ⅱ	2	専門演習Ⅲ	2	2	専門演習Ⅳ	2	20
										専門演習Ⅰ	2	専門演習Ⅱ	2	卒業論文			4		
	他学科科目									会計学基礎理論	2								2
	隣接・関連分野																		0
	合 計			20		20		21		21		18		16		2		6	124

卒業要件(卒業必要単位:124単位)
1 共通教養科目は、次の定めるところにより、合計32単位以上を修得しなければならない。
(1)外国語分野 必修外国語として第1外国語6単位、第2外国語4単位、計2か国語 10単位
(2)数理・情報、自然、社会、人文分野各4単位計16単位を含め数理・情報、自然、社会、人文分野及び総合全体の中から20単位
(3)スポーツ・健康分野 2単位
2 専門教育科目は、次の定めるところにより、合計64単位以上を修得しなければならない。
(1)学部共通部門 10単位
(2)ビジネス部門 6単位
(3)マネジメント部門 6単位
(4)演習部門 8単位
(5)経営学部専門教育科目 34単位
3 上記のほかに、共通教養科目及び専門教育科目の中から28単位以上を修得しなければならない。

履修モデル（経営学部 経営学科）

【履修モデルとは…】
学部学科では、ディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーに基づき、「養成する人材像」を定めています。
学部学科には様々な科目が用意されていますが、「養成する人材像」を目指す上で、いつ（学年）、どのような科目を、どのような順に学んでいくか、履修したらいいかを明示しているものが「履修モデル」です。
学生の皆さんはこれを参考に、自らの目標・目的に従って授業を選択し、履修してください。

学部・学科名	経営学部・経営学科	対象入学年度	2025年度以降入学生
ディプロマ・ポリシー	経営学部経営学科では、学則第2条の2に示す人材の養成を目指します。この目標に沿って、所定の単位を修得し、以下の資質、能力及び知識を身につけた学生に「学士（経営学）」の学位を授与します。 (知識・技能) 1. ビジネス・マネジメント、流通・マーケティング、データサイエンス、国際ビジネスなどの分野の専門知識を身につけている。 2. アカウンティング、ファイナンス、ビジネスデザインなどの分野の基礎知識を身につけている。 3. ビジネスの現場における問題を発見、分析、解決するために必要な情報を集めることができる。 4. 幅広い教養、豊かな人間性及び社会的倫理観を身につけている。 (思考力・判断力・表現力) 1. 上述の知識、及び集めた情報を篩選立てて活用し、ビジネスの現場における問題の発見、分析、及び解決策の提案ができる。 2. 上記の一連の流れを、分かりやすく言語化することができる。 (主体性・多様性・協働性) 1. 国際的教養と視野を持ち、様々な場面で適切なコミュニケーションを取る能力を有している。 2. 多様な人々と協力して地域社会に貢献する意欲と能力を身につけている。		
カリキュラム・ポリシー	経営学部経営学科では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げた資質、能力及び知識を修得させるために、全学部共通で示す教育課程の編成・実施方針に加え、以下の内容、方法等に基づき、カリキュラムを体系的に編成し、実施します。 (教育内容) 1. 広義の経営学を7分野に分け、経営学科にはこのうち「ビジネス・マネジメント」「流通・マーケティング」「データサイエンス」「国際ビジネス」の4コースを設ける。 2. 経営学部両学科各コースの基礎的知識を横断的に学修できるよう、「学部共通部門」を設置する。 3. 所属コースに関する専門的内容を深く、体系的に学修できるよう、コースごとに科目群を配置し、それぞれに必修科目、選択必修科目を定める。 4. アカウンティング等の学修機会も得られるよう、会計ファイナンス学科の科目も柔軟に履修可能とする。 5. 各科目で学んだ知識、考え方の総合力、応用力、表現力を涵養するため、各コースとも専門演習8単位を必修とする。 6. 幅広い教養、豊かな人間性、社会的倫理観、及び国際的教養と視野を身につけられるよう、共通教養科目の「外国語」「数理・情報」「自然」「社会」「人文」「スポーツ・健康」の各分野にそれぞれ必要修得単位数を設ける。 (教育方法) 1. 専門演習や入門演習等の演習系科目においてはアクティブ・ラーニング、PBL (Project Based Learning、課題解決型学習) 等の教授法を積極的に取り入れ、知識を伝授する座学にとどまらず、知識を基盤とした能動的学修を通じて、実践的な教育を目指す。 2. LMS (Learning Management System: オンラインによる学習管理システム) として「Moodle」を活用し、学生との双方向的な教育を推進する。 3. 演習系や実習系の科目に対する少人数制や大人数科目に対する分割開講などの採用により、授業内容・形式に応じた適切な履修者数を設定する。 4. シラバスにおいて「準備学習・事後学習」を全授業科目で明示することで、学生の授業外での学習を促し、学習時間確保と単位の実質化に努める。 5. 履修モデル、カリキュラムマップを示すことにより、体系的、段階的な学修ができるようにする。 (学修成果の評価) 経営学部経営学科では、本学における学修成果の評価方針（アセスメント・ポリシー）に基づき、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に示す学修目標の達成状況を把握するため、以下の方法により、検証・評価を行います。 1. 教育課程（マクロ）での評価は、学修成果アンケート、単位取得状況、学位取得率、GPA分布（年度毎、通算）、留年率、必修科目や専門演習の成果評価割合等により行う。 2. 授業科目（ミクロ）での評価は、シラバス「成績評価の方法と基準」で明示した基準に基づいて、各科目の成績評価分布、授業評価アンケートにより行う。		

履修モデル	コース	流通・マーケティング
養成する人材像	市場のニーズを捉えるセンスをもち、捉えたニーズを論理的に分析・報告できる人材	

		1年次				2年次				3年次				4年次				合計単位	
		第1セメスター	単位	第2セメスター	単位	第3セメスター	単位	第4セメスター	単位	第5セメスター	単位	第6セメスター	単位	第7セメスター	単位	第8セメスター	単位		
共通教養科目	外国語分野	Reading I	1	Reading II	1	Reading III	1	Reading IV	1									6	
		Practical English	1	TOEIC I	1														
		〇〇語入門I	1	〇〇語入門II	1													4	
		〇〇語基礎I	1	〇〇語基礎II	1														
	数理・情報分野 自然分野 社会分野 人文分野 総合	数理・情報分野科目	2	数理・情報分野科目	2	自然分野科目	2	自然分野科目	2	総合を含む5分野のうち1科目	2								
		人文分野科目	2	人文分野科目	2	社会分野科目	2	社会分野科目	2	総合を含む5分野のうち1科目	2							26	
		総合を含む5分野のうち1科目	2	総合を含む5分野のうち1科目	2			総合を含む5分野のうち1科目	2										
スポーツ・健康分野	スポーツ・健康演習	2															2		
専門教育科目	学部共通部門	経営学入門	2	ファイナンス論	2													18	
		会計学入門	2	企業法	2														
		流通論	2	経営統計	2														
		ミクロ経済学	2	マーケティング論	2														
	流通部門			マクロ経済学	2													10	
				流通政策論	2	国際流通論	2					小売経営論	2						
	マーケティング部門					物流論	2	ロジスティクス論	2									20	
						消費者行動論 I	2	消費者行動論 II	2	サービス・マーケティング	2	マーケティング・コミュニケーション	2						
						マーケティング・システム	2	マーケティング戦略論	2	マーケティング・リサーチ	2	ソーシャル・マーケティング	2						
								国際マーケティング論	2										
	マネジメント部門							社会調査方法論	2									14	
						経営戦略論 I	2	経営戦略論 II	2	経営組織論 II	2								
								経営管理論 I	2	経営管理論 II	2								
								会社法 I	2			経営組織論 I	2						
	演習部門	入門ゼミ	2			基礎ゼミ	2			外国書講読 I	2	外国書講読 II	2	専門演習 III	2	専門演習 IV	2	20	
										専門演習 I	2	専門演習 II	2	卒業論文			4		
	隣接・関連分野									民法総則 I	2	民法総則 II	2					8	
										企業取引法	2	国際観光学概論	2						
	合 計			22		22		21		21		18		16		2		6	128

卒業要件（卒業必要単位：124単位）
1 共通教養科目は、次の定めるところにより、合計32単位以上を修得しなければならない。
(1) 外国語分野 必修外国語として第1外国語6単位、第2外国語4単位、計2か国語 10単位
(2) 数理・情報、自然、社会、人文分野各4単位計16単位を含め数理・情報、2自然、社会、人文分野及び総合全体の中から20単位
(3) スポーツ・健康分野 2単位
2 専門教育科目は、次の定めるところにより、合計64単位以上を修得しなければならない。
(1) 学部共通部門 10単位
(2) 流通部門 6単位
(3) マーケティング部門 8単位
(4) 演習部門 8単位
(5) 経営学部専門教育科目 32単位
3 上記のほか、共通教養科目及び専門教育科目の中から28単位以上を修得しなければならない。

履修モデル（経営学部 経営学科）

【履修モデルとは…】
学部学科では、ディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーに基づき、「養成する人材像」を定めています。
学部学科には様々な科目が用意されていますが、「養成する人材像」を目指す上で、いつ（学年）、どのような科目を、どのような順に学んでいくか、履修したらいいかを明示しているものが「履修モデル」です。
学生の皆さんはこれを参考に、自らの目標・目的に従って授業を選択し、履修してください。

学部・学科名	経営学部・経営学科	対象入学年度	2025年度以降入学生
ディプロマ・ポリシー	経営学部経営学科では、学則第2条の2に示す人材の養成を目指します。この目標に沿って、所定の単位を修得し、以下の資質、能力及び知識を身につけた学生に「学士（経営学）」の学位を授与します。 (知識・技能) 1. ビジネス・マネジメント、流通・マーケティング、データサイエンス、国際ビジネスなどの分野の専門知識を身につけている。 2. アカウンティング、ファイナンス、ビジネスデザインなどの分野の基礎知識を身につけている。 3. ビジネスの現場における問題を発見、分析、解決するために必要な情報を集めることができる。 4. 幅広い教養、豊かな人間性及び社会的倫理観を身につけている。 (思考力・判断力・表現力) 1. 上述の知識、及び集めた情報を篩選して活用し、ビジネスの現場における問題の発見、分析、及び解決策の提案ができる。 2. 上記の一連の流れを、分かりやすく言語化することができる。 (主体性・多様性・協働性) 1. 国際的教養と視野を持ち、様々な場面で適切なコミュニケーションを取る能力を有している。 2. 多様な人々と協力して地域社会に貢献する意欲と能力を身につけている。		
カリキュラム・ポリシー	経営学部経営学科では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げた資質、能力及び知識を修得させるために、全学部共通で示す教育課程の編成・実施方針に加え、以下の内容、方法等に基づき、カリキュラムを体系的に編成し、実施します。 (教育内容) 1. 広義の経営学を7分野に分け、経営学科にはこのうち「ビジネス・マネジメント」「流通・マーケティング」「データサイエンス」「国際ビジネス」の4コースを設ける。 2. 経営学部両学科各コースの基礎的知識を横断的に学修できるよう、「学部共通部門」を設置する。 3. 所属コースに関する専門的内容を深く、体系的に学修できるよう、コースごとに科目群を配置し、それぞれに必修科目、選択必修科目を定める。 4. アカウンティング等の学修機会も得られるよう、会計ファイナンス学科の科目も柔軟に履修可能とする。 5. 各科目で学んだ知識、考え方の総合力、応用力、表現力を涵養するため、各コースとも専門演習8単位を必修とする。 6. 幅広い教養、豊かな人間性、社会的倫理観、及び国際的教養と視野を身につけられるよう、共通教養科目の「外国語」「数理・情報」「自然」「社会」「人文」「スポーツ・健康」の各分野にそれぞれ必要修得単位数を設ける。 (教育方法) 1. 専門演習や入門演習等の演習系科目においてはアクティブ・ラーニング、PBL (Project Based Learning、課題解決型学習) 等の教授法を積極的に取り入れ、知識を伝授する座学にとどまらず、知識を基盤とした能動的学修を通じて、実践的な教育を目指す。 2. LMS (Learning Management System: オンラインによる学習管理システム) として「Moodle」を活用し、学生との双方向的な教育を推進する。 3. 演習系や実習系の科目に対する少人数制や大人数科目に対する分割開講などの採用により、授業内容・形式に応じた適切な履修者数を設定する。 4. シラバスにおいて「準備学習・事後学習」を全授業科目で明示することで、学生の授業外での学習を促し、学習時間確保と単位の実質化に努める。 5. 履修モデル、カリキュラムマップを示すことにより、体系的、段階的な学修ができるようにする。 (学修成果の評価) 経営学部経営学科では、本学における学修成果の評価方針（アセスメント・ポリシー）に基づき、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に示す学修目標の達成状況を把握するため、以下の方法により、検証・評価を行います。 1. 教育課程（モノ）での評価は、学修成果アンケート、単位取得状況、学位取得率、GPA分布（年度毎、通算）、留年率、必修科目や専門演習の成果評価割合等により行う。 2. 授業科目（ミクロ）での評価は、シラバス「成績評価の方法と基準」で明示した基準に基づいて、各科目の成績評価分布、授業評価アンケートにより行う。		

履修モデル	コース	データサイエンス
養成する人材像	経営データの分析や情報技術の活用に関する知見と実践力を有する人材	

		1年次				2年次				3年次				4年次				合計単位
		第1セメスター	単位	第2セメスター	単位	第3セメスター	単位	第4セメスター	単位	第5セメスター	単位	第6セメスター	単位	第7セメスター	単位	第8セメスター	単位	
共通教養科目	外国語分野	Reading I	1	Reading II	1	Reading III	1	Reading IV	1									6
		Practical English	1	TOEIC I	1													4
		〇〇語入門I	1	〇〇語入門II	1													
		〇〇語基礎I	1	〇〇語基礎II	1													
	数理・情報分野 自然分野 社会分野 人文分野 総合	統計学入門	2	社会分科学科目	2	自然分科学科目	2	自然分科学科目	2									36
		情報リテラシー・入門	1	人文分科学科目	2	社会分科学科目	2	人文分科学科目	2									
		数理学入門	2	統計学基礎	2	情報と社会	2	総合を含む5分野のうち1科目	2									
		確率論入門	2	情報リテラシー・応用	1	情報の科学	2	総合を含む5分野のうち1科目	2									
				確率論基礎	2	データサイエンス入門	2											
				数理科学基礎	2													
	スポーツ・健康分野	スポーツ・健康演習	2															2
専門教育科目	学部共通部門	経営学入門	2	ファイナンス論	2	ミクロ経済学	2	マクロ経済学	2	流通論	2							20
		会計学入門	2	経営統計	2					国際経営論	2							
		デジタルビジネス論	2	マーケティング論	2													
	情報システム部門					情報システムの基礎	2	データベース演習	2	システムデザイン	2							12
						プログラミング入門	2	情報通信の基礎	2	ネットワークとセキュリティ	2							
	データ解析部門					オペレーションズ・リサーチ	2	経営データ解析	2			マーケティング・リサーチ	2					8
						社会とデータサイエンス	2											
	AI部門							AI入門	2	AI演習基礎	2	AI演習応用	2					8
										シミュレーション論	2							
	マネジメント部門									生産管理論Ⅰ	2	生産管理論Ⅱ	2					4
	国際ビジネス部門									ビジネス英語Ⅰ	2	ビジネス英語Ⅱ	2					4
	演習部門	入門ゼミ	2					基礎ゼミ	2	外国書講読Ⅰ	2	外国書講読Ⅱ	2	専門演習Ⅲ	2	専門演習Ⅳ	2	20
										専門演習Ⅰ	2	専門演習Ⅱ	2	卒業論文			4	
	隣接・関連分野									民法総則Ⅰ	2	民法総則Ⅱ	2					4
合 計			21		21		21		21		22		14		2		6	128

卒業要件（卒業必要単位：124単位）
1 共通教養科目は、次の定めるところにより、合計32単位以上を修得しなければならない。
(1) 外国語分野 必修外国語として第1外国語6単位、第2外国語4単位、計2か国語 10単位
(2) 数理・情報、自然、社会、人文分野各4単位計16単位を含め数理・情報、自然、社会、人文分野及び総合全体の中から20単位
(3) スポーツ・健康分野 2単位
2 専門教育科目は、次の定めるところにより、合計64単位以上を修得しなければならない。
(1) 学部共通部門 10単位
(2) 情報システム部門 2単位
(3) データ解析部門 2単位
(4) AI部門 2単位
(5) コース3部門全体 12単位
(6) 演習部門 8単位
(7) 経営学部専門教育科目 34単位
3 上記のほかにも、共通教養科目及び専門教育科目の中から28単位以上を修得しなければならない。

履修モデル（経営学部 経営学科）

【履修モデルとは…】
学部学科では、ディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーに基づき、「養成する人材像」を定めています。
学部学科には様々な科目が用意されていますが、「養成する人材像」を目指す上で、いつ（学年）、どのような科目を、どのような順に学んでいくか、履修したらいいかを明示しているものが「履修モデル」です。
学生の皆さんはこれを参考に、自らの目標・目的に従って授業を選択し、履修してください。

学部・学科名	経営学部・経営学科	対象入学年度	2025年度以降入学生
ディプロマ・ポリシー	経営学部経営学科では、学則第2条の2に示す人材の養成を目指します。この目標に沿って、所定の単位を修得し、以下の資質、能力及び知識を身につけた学生に「学士(経営学)」の学位を授与します。 (知識・技能) 1. ビジネス・マネジメント、流通・マーケティング、データサイエンス、国際ビジネスなどの分野の専門知識を身につけている。 2. アカウンティング、ファイナンス、ビジネスデザインなどの分野の基礎知識を身につけている。 3. ビジネスの現場における問題を発見、分析、解決するために必要な情報を集めることができる。 4. 幅広い教養、豊かな人間性及び社会的倫理観を身につけている。 (思考力・判断力・表現力) 1. 上述の知識、及び集めた情報を筋道立てて活用し、ビジネスの現場における問題の発見、分析、及び解決策の提案ができる。 2. 上記の一連の流れを、分かりやすく言語化することができる。 (主体性・多様性・協働性) 1. 国際的教養と視野を持ち、様々な場面で適切なコミュニケーションを取れる能力を有している。 2. 多様な人々と協力して地域社会に貢献する意欲と能力を身につけている。		
カリキュラム・ポリシー	経営学部経営学科では、学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)に掲げた資質、能力及び知識を修得させるために、全学部共通で示す教育課程の編成・実施方針に加え、以下の内容、方法等に基づき、カリキュラムを体系的に編成し、実施します。 (教育内容) 1. 広義の経営学を7分野に分け、経営学科にはこのうち「ビジネス・マネジメント」「流通・マーケティング」「データサイエンス」「国際ビジネス」の4コースを設ける。 2. 経営学部両学科各コースの基礎的知識を横断的に学修できるよう、「学部共通部門」を設置する。 3. 所属コースに関する専門の内容を深く、体系的に学修できるよう、コースごとに科目群を配置し、それぞれに必修科目、選択必修科目を定める。 4. アカウンティング等の学修機会も得られるよう、会計・ファイナンス学科の科目も柔軟に履修可能とする。 5. 各科目で学んだ知識、考え方の総合力、応用力、表現力を涵養するため、各コースとも専門演習Ⅲ単位を必修とする。 6. 幅広い教養、豊かな人間性、社会的倫理観、及び国際的教養と視野を身につけられるよう、共通教養科目の「外国語」「数理・情報」「自然」「社会」「人文」「スポーツ・健康」の各分野にそれぞれ必要修得単位数を設ける。 (教育方法) 1. 専門演習や入門演習等の演習系科目においてはアクティブ・ラーニング、PBL(Project Based Learning、課題解決型学習)等の教授法を積極的に取り入れ、知識を伝授する底学にとどまらず、知識を基盤とした能動的な学修を通じて、実践的な教育を目指す。 2. LMS(Learning Management System:オンラインによる学習管理システム)として「Moodle」を活用し、学生との双方向的な教育を推進する。 3. 演習夜や実習系の科目に対する少人数制や大人数科目に対する分割開講などの採用により、授業内容・形式に応じた適切な履修者数を設定する。 4. シラバスにおいて「準備学習・事後学習」を全授業科目で明示することで、学生の授業外での学習を促し、学習時間確保と単位の実質化に努める。 5. 履修モデル、カリキュラムマップを示すことにより、体系的・段階的な学修ができるようにする (学修成果の評価) 経営学部経営学科では、本学における学修成果の評価方針(アセスメント・ポリシー)に基づき、学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)に示す学修目標の達成状況を把握するため、以下の方法により、検定・評価を行います。 1. 教育課程(メソッド)での評価は、学修成果アンケート、単位取得状況、単位取得率、GPA分布(年度毎、通算)、留年率、必修科目や専門演習の成果評価割合等により行う。 2. 授業科目(ミクロ)での評価は、シラバス「成績評価の方法と基準」で明示した基準に基づいて、各科目の成績評価分布、授業評価アンケートにより行う。		

履修モデル	コース	国際ビジネス
養成する人材像	幅広い教養と経営学の最新の知見、さらに国際的な視野と高度な語学力を身につけ、グローバル社会で活躍できる人材	

		1年次				2年次				3年次				4年次				合計単位
		第1セメスター	単位	第2セメスター	単位	第3セメスター	単位	第4セメスター	単位	第5セメスター	単位	第6セメスター	単位	第7セメスター	単位	第8セメスター	単位	
共通教養科目	外国語分野	Reading I	1	Reading II	1	Reading III	1	Reading IV	1									6
		Practical English	1	TOEIC I	1													
		〇〇語入門I	1	〇〇語入門II	1													4
		〇〇語基礎I	1	〇〇語基礎II	1													
	数理・情報分野 自然分野 社会分野 人文分野 総合	数理・情報分野 科目	2	数理・情報分野 科目	2	自然分野科目	2	自然分野科目	2									22
	異文化理解	2	人文分野科目	2	人文分野科目	2	社会分野科目	2										
	統計学入門	2	統計学基礎	2			社会分野科目	2										
	スポーツ・健康分野	スポーツ・健康演習	2															2
専門教育科目	学部共通部門	経営学入門	2	ファイナンス論	2	流通論	2											20
		会計学入門	2	企業法	2													
		ミクロ経済学	2	経営統計	2													
		国際経営論	2	マーケティング論	2													
				マクロ経済学	2													
	国際ビジネス部門					異文化マネジメント	2	国際マーケティング論	2	ビジネス英語 I	2	ビジネス英語 II	2					20
						比較経営史	2	国際ビジネス実践	2	アントレプレナーシップ論	2	生産システムの国際移転	2					
						国際経済論	2					国際流通論	2					
	地域ビジネス部門					アジア企業論	2	アジア経営比較論	2									12
						中国国際経営論	2	アメリカビジネス論	2									
						中国ビジネス論	2	ヨーロッパビジネス論	2									
	マネジメント部門							経営組織論I	2	経営戦略論I	2	経営戦略論II	2					10
										経営管理論I	2	経営管理論II	2					
	マーケティング部門									マーケティング・リサーチ	2							4
										消費者行動論I	2							
演習部門	入門ゼミ	2			基礎ゼミ	2			外国書講読 I	2	外国書講読 II	2	専門演習Ⅲ	2	専門演習Ⅳ	2	20	
									専門演習 I	2	専門演習 II	2	卒業論文			4		
隣接・関連分野							中国対外経済論	2	アジア経済関係論	2	Global Economic Affairs	2					12	
									産業組織論	2	国際観光学概論	2						
									国際産業論	2								
	合 計			22		20		21		21		22		18		2		6

卒業要件(卒業必要単位:124単位)
1 共通教養科目は、次の定めるところにより、合計32単位以上を修得しなければならない。
(1)外国語分野 必修外国語として第1外国語6単位、第2外国語4単位、計2か国語 10単位
(2)数理・情報、自然、社会、人文分野各4単位計16単位を含め数理・情報2、自然、社会、人文分野及び総合全体の中から20単位
(3)スポーツ・健康分野 2単位
2 専門教育科目は、次の定めるところにより、合計64単位以上を修得しなければならない。
(1)学部共通部門 10単位
(2)国際ビジネス部門 8単位
(3)地域ビジネス部門 6単位
(4)演習部門 8単位
(5)経営学部専門教育科目 32単位
3 上記のほか、共通教養科目及び専門教育科目の中から28単位以上を修得しなければならない。